



### ぐるぐるタイム

子どもと保護者を対象に、絵本・わらべうたなどを通して「聞く力」が伸びるように工夫したプログラム。本の紹介も行われ、子どもたちが自分で好きな本を選んで借りることができます。



### ブックスタート

乳幼児健診の後に行われている子育て支援事業。職員・ボランティアが1対1で絵本の読み聞かせを行います。2種類の本から、気に入った1冊をプレゼントしています。



### 児童カウンター

児童専用貸出しカウンター。職員が常駐して子どもたちに本を手渡し、おすすめの本も紹介することで、コミュニケーションの場としての役割も果たしています。



### ブックリスト配布

毎年、小学1年生全員に学年ごとのおすすめ本をまとめたブックリスト冊子「みよしまちどのほんがすき?」を配布。成長にあわせた本との出会いをサポートしています。



【写真】児童書コーナーの本に囲まれた空間で一緒に読書を楽しむ子どもと保護者。

## 17年連続県内1位

埼玉県図書館協会「埼玉の公立図書館」によると、平成30年度、三芳町の人口1人当たりの貸出し冊数は11.28冊。平均は5.26冊で17年連続で県内1位です。

順位	市町村	人口1人当たりの貸出冊数	貸出冊数
1	三芳町	11.28	433,924
2	宮代町	9.28	316,755
3	鶴ヶ島市	7.92	555,124



て本と出会う場として親しまれています。図書館で行われるイベントは子ども向けだけではなくありません。朗読や落語などの「大人のための図書館講座」を開催しています。なぜ、町はこのような読書推進事業を行うのでしょうか。全国に先駆けて行われてきた大人のための読書推進事業「中高年の読書会―ビブリオバトル方式―」などを通じて、そのヒントに迫ります。

「ぐるぐるタイム」、2歳児と保護者向けの「ブックスタートプラス」など子どもの成長に合わせた読書イベントが行われる日。読み聞かせなどを行うこれらの取り組みは子どもたちが人生で初めて本と出会う場として親しまれています。図書館で行われるイベントは子ども向けだけではなくありません。朗読や落語などの「大人のための図書館講座」を開催しています。なぜ、町はこのような読書推進事業を行うのでしょうか。全国に先駆けて行われてきた大人のための読書推進事業「中高年の読書会―ビブリオバトル方式―」などを通じて、そのヒントに迫ります。

# 読書ホントノヨロコビ

秋と言えば「読書の秋」。読み聞かせやビブリオバトルなど、図書館が行うたくさんの読書推進事業のヒミツに迫ります。